

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービスなないろ鳥栖		
○保護者評価実施期間	令和7年1月4日		令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	令和7年1月4日		令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種があり、多方面からのアプローチが可能。 保育士だけでなく、理学療法士、栄養士、調理師、介護福祉士、社会福祉士、小学校教諭、パラ水泳指導員、ダンスインストラクターの有資格者がいる。	毎日、栄養士の献立のもと、手作りおやつを提供し、野菜を使うなど、食育にも繋げている。理学療法士による、体幹トレーニングや持久力・筋力UPに繋がる支援も実施している。また、ダンス部活動として、希望者はダンスインストラクターによるダンス練習を行い、披露の機会も作っている。	それぞれの資格を生かして、もっと色んな支援ができるかもしれない。利用児だけでなく、保護者対象も念頭に活動やイベント等を検討する。
2	事業所に陶芸の窯があり、陶芸の先生が非常勤スタッフとして勤務している為、陶芸活動が出来る。陶芸は、手先及び脳の刺激にもなり、楽しみながら成長を促せる作業である。	事業所の特色としての陶芸である為、年に数回、陶芸のイベントを行っている。また、定期的活動希望者は利用時に時間を設けている。陶芸は、精神安定や集中力向上にもいいものとされている為、希望者のほか、こちらから提案し活動に繋がる場合もある。陶芸活動のみの利用も可能としている。	陶芸イベントをもっと多くしてもいいかもしれない。交流イベント等で保護者や地域の方をお呼びし、その際に事業所や陶芸活動を知ってもらう機会になればと思われる。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一日の利用人数が多くなると、静かな環境が作りにくく、宿題等しづらい状況になる時がある。	余暇活動や個別活動の場と、学習活動の場が同じフロアーにあり、一方が話している状況で集中しなくてはならない。個室が1つしかなく、我慢していたり、順番待ちせざるを得ない状況もある。	パーティションを活用し、フロアー内に仕切りを作り、少しでも集中できる環境を広げられるようにする。 晴れた日は、外活動の時間を作り、フロアー、庭それぞれのスペースを活用する。
2			
3			